

mare

TRUE WIRELESS
STEREO EARPHONES

TA-MA01TW 取扱説明書

この度は、弊社Bluetoothイヤホンをお買い上げいただき誠にありがとうございます。本製品を正しくお使いいただくために本取扱説明書をよくお読みください。また、お読みになられた後は大切に保管してください。

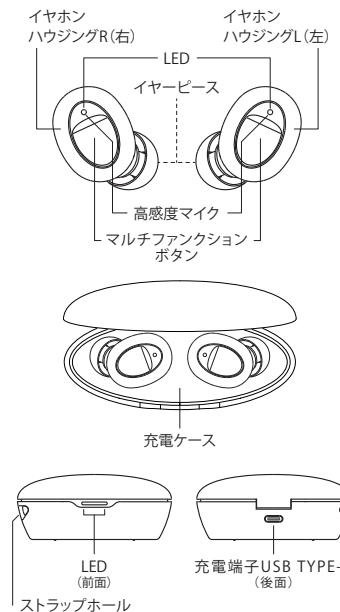
梱包内容

・ブルートゥースイヤホン	×1set
・充電ケース	×1個
・USB TYPE-C ⇄ USB充電コード	×1本
・スペアイヤーピース(S,L)	×各1set
※Mは標準装着	
・取扱説明書 / 保証書	×各1枚



Bluetooth®
Version 5.0 + EDR

【各部の名称と製品仕様】



EARPHONES SPEC.

ドライバユニット: φ8mm
再生周波数帯域: 20Hz~20kHz
インピーダンス: 32Ω
最大入力: 5mW
音圧感度: 95dB
充電接続口: USB TYPE-C

イヤホン仕様

BLUETOOTH SPEC.

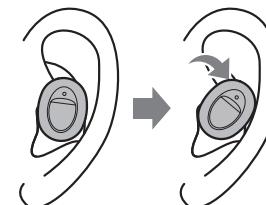
通信方式: Bluetooth Ver.5.0+EDR
通信距離: 見通し約10m
対応プロファイル: A2DP, AVRCP, HFP, HSP
対応コーデック: SBC
最大連続待受時間: 約100時間
最大連続再生時間: 約4時間
充電時間: イヤホン本体約1.5時間
充電BOX約2.5時間
イヤホン部バッテリー: 3.7V 50mAh リチウムポリマー
ケースバッテリー: 500mAh

ブルートゥース仕様

使用方法

●耳への装着方法

- ・イヤホン本体のL(左)R(右)をご確認ください。
- ・イヤホン本体を耳にはめ込んでください。
- ・はめ込んだ後、後ろ側に傾けてください。
自身の耳でイヤホン本体が固定されます。
- ※耳の穴の大きさに応じて、付属のSサイズ、Lサイズのイヤーピースと交換してください。



●電源を入れる

イヤホン本体の電源を入れる方法は2つあります。

- 方法1: 充電ケースからイヤホン本体を取り出すと、イヤホン本体に電源が入り自動でイヤホン同士がペアリングされます。(左右のイヤホン本体LEDが赤と青に交互に点滅し、約1秒後右側もしくは左側のイヤホン本体よりLEDが消え、イヤホン同士のペアリングが完了します)
- 方法2: イヤホン本体の電源が入っていない状態で、マルチファンクションボタンを左右同時に約3秒長押しします。(左右のイヤホン本体LEDが赤と青に交互に点滅し、約1秒後右側のイヤホン本体よりLEDが消え、イヤホン同士のペアリングが完了します)

●電源を切る

イヤホン本体の電源を切る方法は2つあります。

- 方法1: イヤホン本体を充電ケースに収納すると、自動で電源が切れ、イヤホン本体の充電状態となります。
- 方法2: イヤホン本体の電源が入っている状態で、イヤホン本体のマルチファンクションボタンを約5秒間長押しします。(イヤホン本体のLEDが赤で3回点滅後、消えます。その際に「power off」とアナウンスが流れます)

●ペアリング接続

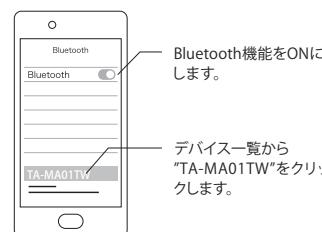
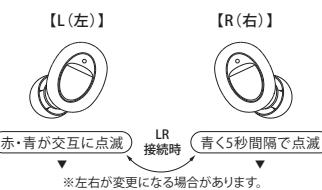
①2つのイヤホン本体を充電ケースより取り出しますと、イヤホン本体の電源が自動で入ります。(その際に「power on」「pairing」とアナウンスが流れます)

②これで左右のイヤホン本体のペアリングが成功となり、スマートフォン等のBluetooth機器とのペアリング待機状態となります。(その際に左側もしくは右側のイヤホン本体のLEDが赤と青が交互に点滅します。右側もしくは左側のイヤホン本体はLEDは消えている状態です)

③スマートフォン側のBluetooth機能をONにし、デバイス一覧から「TA-MA01TW」をクリックします。

④「TA-MA01TW」が「接続済み」となり、イヤホン本体とBluetooth機器との接続が完了します。(その際に「connected」とアナウンスが流れます)

⑤左右のイヤホン本体のLEDが青く5秒間隔で点滅します。(接続状態となります)



※Bluetooth項目の検索方法は機器により異なります。

詳しい操作方法は機器の取扱説明書を参照ください。

*ペアリングの設定中に操作を間違えてしまったり、ペアリングに失敗してしまった場合は最初からやり直してください。(接続機器のBluetooth項目に「TA-MA01TW」が表示されている場合は1度接続を解除してください)

*1度ペアリング設定を行なえば2回目以降は自動で接続されますが、自動で接続されない場合はもう1度最初からペアリング設定を行なってください。

●電話に出る(着信応答)

着信時に、LかRのマルチファンクションボタンを1回押すと、電話に出ます。再度1回押すと電話を切ります。

●電話に出ない(着信拒否)

着信時に、LかRのマルチファンクションボタンを約2秒長押しします。

●音楽の再生・停止

音楽再生時に、LかRのマルチファンクションボタンを1回押すと、音楽を停止します。
再度1回押すと音楽を再生します。

●曲送り・曲戻し

音楽再生時、左側マルチファンクションボタンを2回早押しすると、曲の最初に戻ります。
曲の最初に2回早押しすると、再生している曲の1つ前の曲が再生されます。音楽再生時、右側マルチファンクションボタンを2回早押しすると、再生している曲の1つ後の曲が再生されます。

●音量のUP/DOWN

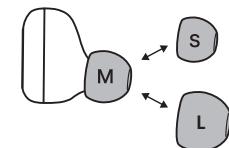
音楽再生時、左側マルチファンクションボタンを3回早押しすると、音量が1段階下がります。
音楽再生時、右側マルチファンクションボタンを3回早押しすると、音量が1段階上がります。

●片耳で使用する場合

- ・電源を入れる、電源を切る、着信応答、着信拒否、音楽の再生/停止は通常の両耳で使用する場合と同じ操作方法となります。
- ・既に両耳で使用している場合、一方のイヤホン本体を充電ケースに収納すれば、もう一方のイヤホンで片耳使用できます。※左右どちらでも片耳使用できます。
- ・片耳で使用するときに、収納している一方のイヤホン本体を充電ケースから取り出して両耳で使用することができます。※片耳で使用する場合、音量のUP/DOWN、曲送り/曲戻しはできません。

●イヤーピースを交換する

・本製品は、工場出荷時にMサイズのイヤーピースを本体に装着しています。お客様の耳にフィットしない場合は付属の別サイズ(SサイズもしくはLサイズ)のイヤーピースと付け替えてください。



※イヤーピースが耳にフィットしていない状態で使用すると音漏れの原因になりますので、耳にフィットしたサイズを装着する事をお勧めします。

防水機能についての注意!

本製品(イヤホン本体)は、防水仕様が「IPX6」(あらゆる方向から水を直接吹きつけても影響がない)となっており、汗や雨等に強い生活防水仕様ではありますが、ご使用の際は、以下の点にご注意ください。

●水の中にイヤホンを入れない(落とさない、浸さない)でください。水没となり、保証期間内であっても有償修理対応となります。

●イヤホンが濡れたままの状態で、充電BOXに収納しないでください。充電端子の劣化や、ショートする場合があります。

濡れた場合は放置せずに乾いた柔らかい布等で十分に水分を拭き取ってください。

●本製品をドライヤー等で乾かさないでください。変形する恐れがあります。

●充電BOX及び充電ケーブルは防水仕様ではありません。

水がかかる恐れのある場所で、充電・保管等はしないでください。

充電方法

●イヤホンの充電方法

- 充電ケースに電池残量がある状態でイヤホン本体を充電ケースに収納しますと、充電が開始されます。(その際にイヤホン本体のLEDは赤で点灯します。イヤホン本体が満充電になると消えます)
- 充電ケースを充電後、充電ケーブルを接続していない状態で、左右のイヤホン本体を同時に収納しますと、充電ケースの前面LED表示が白く点灯します。(充電ケースからイヤホン本体に充電している状態です)
- 前面LED表示は充電ケースの電池残量の目安となっております。前面LED表示は4段階となっており、1つLED点灯であれば充電ケースの電池残量は約25%、2つLED点灯であれば電池残量は約50%、3つLED点灯であれば電池残量は約75%、4つ点灯であれば電池残量は100%となります。
- 本体を同時に収納しないと充電できません。
- 例えば、左側イヤホン本体が満充電で、右側イヤホン本体が未充電の場合、左側の満充電イヤホン本体を先に充電ケースに収納し、その後未充電の右側イヤホン本体を充電ケースに収納した場合、充電されません。この場合、両方同時に充電ケースに収納するか、未充電のイヤホンを先に入れることで充電は開始いたします。

注意事項

1. 初めて本商品をご使用になる前に、取扱説明書を良くお読みください。

また、取扱説明書は大切に保管してください。

2. 初めて本商品をご使用になる前に、本商品を満充電してからご使用ください。

3. もし本商品を1か月以上しなかった場合は、充電してからご使用ください。

4. ペアリング時に接続Bluetooth機器上に本商品が表示されない場合、本商品がペアリング状態になっているかを確認ください。3分以上ペアリングしない、接続しない場合。もしくはBluetooth機器との距離が10m以上3分以上離れた場合、イヤホン本体は自動で電源が切れます。

5. イヤホン本体の電源が不足すると「Please charge」とアナウンスが流れますので速やかに充電してください。

安全上の注意

■ 人への危害・安全上の損害を防止するため必ずお守りいただく内容を記載しています。

	危険 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性が大きい内容		してはいけない内容
	警告 取り扱いを誤った場合、死亡または重傷を負う可能性がある内容		してはいけない内容
	注意 取り扱いを誤った場合、軽症を負うことや物的損害が発生する可能性がある内容		実行しなければならない内容

△ 危険

	本製品を充電する場合は必ず本製品に付属の充電ケーブルを使用してください 電池の液漏れ、加熱、破裂、火災の原因になります。
	水に濡らさない 感電、破裂、発火の恐れがあります。直射日光・高温多湿の環境下では使用・放置をしない 性能低下、破裂、電池の液漏れ、発火の恐れがあります。

	電池の液が漏る場合は素手で触らないでください 万一、液が目に入ったときは触らず水道水などのきれいな水で洗った後、医師の診療を受けてください。 また、液が身体についたときも水道水などのきれいな水で洗い流し医師に相談ください。
--	---

△ 警告

	異音が発生した場合は使用を中止してください 製品内部に水や異物が入った場合、煙が出た場合、異常な音やにおいがした場合、音が出ない場合、本体や充電ケーブルに破損がある場合は使用を中止してください。
	分解・改造をしない 感電、故障や火災の原因になります。

	強い衝撃をあたえない / 濡れた手で触らない 感電、故障や火災の原因になります。
--	---

故障かな?と思ったら

●充電ケースに充電できません。

→本製品付属の充電ケーブルをご使用ください。他社製のスマートホンやタブレットに付属の充電器は同じTYPE-Cですが、急速充電機能等がついており、本イヤホン充電ケースには対応しておりません。

●片側のイヤホンが充電ケースに収納しても充電できません。

→イヤホンをある程度使用しますと、イヤホンの充電部(金属の接点)に汗や皮脂が付着し通電しなくなることがあります。乾いた布等で充電部に付着している汚れを取り除いてください。

●Bluetooth機器にペアリングできません。

→ペアリング接続しようとしている機器以外にペアリングしたことはありませんか？
例えば普段スマートフォンでペアリング接続して使用していく、パソコンやタブレットにペアリング接続しようとする場合、スマートフォンのBluetooth機能がONのままで、スマートフォンのほうに自動的にペアリングされ、パソコンやタブレットに接続できません。スマートフォンのBluetooth機能を一度OFFにして、再度ペアリング接続をお試しください。

●音が途切れたり、接続が切れたりします。

→イヤホンと接続した機器(スマートフォン等)の間に障害物はありませんか？
接続した機器が厚手の服のポケットやカバンの中、壁を隔てた隣の部屋にある等、使用状況により音声が途切れることがあります。

イヤホンと機器の位置関係を変えてみてください。

→接続した機器(スマートフォン等)のWi-Fiが「ON」になっていませんか？

Wi-Fiが接続されているとブルートゥースの接続が不安定になる場合があります。

Wi-Fi接続が不要な場合は、Wi-Fi機器を解除してみてください。

→本製品の電池残量が少なくなっていますか？

電池の残量が少ないとき音声が途切れる場合があります。

本製品の充電をしてください。

→その他下記もお試しください。

・イヤホンとBluetooth機器の接続を一度解除し再度ペアリング(初期設定)しなおす。

・イヤホンとBluetooth機器の接続を一度「OFF」にして再度接続しなおす。

・接続した機器(スマートフォン等)を再起動してみる。

●充電ケースへの充電方法

- 付属のUSB TYPE-C対応充電ケーブルを使用し、お手持ちのACアダプタもしくはパソコン等のUSBポートと充電ケースを接続し充電してください。
- 充電ケースへの充電中は、充電ケースの前面LEDが白く点灯・点滅します。
- 充電ケースの充電が25%未満の場合、1つのLEDが白く点滅します。
- 充電ケースの充電が25%から50%未満の場合、1つのLEDは白く点灯し1つのLEDが白く点滅します。
- 充電ケースの充電が50%から75%未満の場合、2つのLEDは白く点灯し1つのLEDが白く点滅します。
- 充電ケースの充電が75%から100%未満の場合、3つのLEDは白く点灯し残りの1つのLEDが白く点滅します。
- 充電ケースの充電が100%(満充電)になった場合、4つのLEDは白く点灯します。
- イヤホンをご使用中に、充電ケースへの充電も可能です。

●紛失・破損・水没した場合

本イヤホンを片側もしくは両側を紛失・破損・水没した場合、充電ケースを紛失・破損・水没した場合には有償にて対応いたします。

●廃棄・処分する場合

本イヤホン及び充電ケースを廃棄・処分する場合にはお住まいの各自治体の廃棄・処分方法に従ってください。

△ 警告

	本製品を病院内や医療機器の近くで使用しない 電波が心臓ベースメーカーや医療電気機器に影響をあたえる恐れがあり誤動作の原因になります。
	自動ドア・火災報知器などの自動機器の近くで使用しない 電波が機器に影響を及ぼすことがあります、誤動作による事故や故障の原因になります。
	航空機内では使用しない 電波が運航の安全に支障をきたす恐れがあり事故の原因となります。
	自動車や自転車などの乗り物を運転中は使用しない 安全に支障をきたす恐れがあり事故の原因となります。
	本製品の音量は外部の音が聞こえなくなるまで大きくしない 大きな音で長時間使用すると、耳に悪影響があたえ聴力が損なわれる恐れがあります。また、周囲にも迷惑がかかりますので安全を確かめながらご使用ください。

△ 注意

	本製品が触れる箇所の肌に不快感や異常を感じたら使用を中止してください そのまま使用を続けると、肌荒れや炎症などの原因になります。
	使用中に気分が悪くなったら使用を中止してください 本製品を耳から外して電源を切ってください。
	磁気の影響を受けやすい物に近づけない キャッシュカード等の磁気カード類には近づけないでください。正しく機能しなくなることがあります。
	内蔵電池について 電池は消耗部品です。長期間本製品を使用せずに保管していた場合、電池の性能が低下する事がありますので定期的なイヤホンの使用や充電をおおすすめします。また、本製品の電池は交換できません。

Bluetoothに関する注意事項／その他の注意事項

Bluetooth イヤホンを使用していると、Bluetooth 機器と微弱な電波で接続しているため下記の環境でご使用の場合、「途切れ」「音飛び」等が発生する場合がございます。「故障かな?と思ったら」とあわせて、ご参照ください。

●電磁ノイズによる場合

- 例) 電車、送電線、掃除機、洗濯機、ドライヤー、IH炊飯器など
- ・高架下や線路脇など電車通過時に電磁ノイズが発生する場所
- ・道路、路線沿いの高架線周りの電磁ノイズが発生する場所
- 症状発生時には、上記電磁ノイズ発生場所から離れて使用してみてください。

●Bluetooth通信と同様の2.4GHz帯の電波による場合

- 例) Wi-Fiルーター、電子レンジ、コードレス電話、Bluetooth搭載機器家電、アマチュア無線など
- ・地下道、駅内(改札口、駅のホーム含む)などWi-Fiルーターが密集している場所
- ・無線免許を取得した施設、工場周辺
- 症状発生時には、上記機器発生場所から離れて使用してみてください。

※本製品の使用によって発生した損害につきましては、法令上賠償責任が認められる場合を除き当社は一切の責任を負いかねます。予めご了承ください。

※本製品は全てのBluetooth機器との接続動作を保証するものではありません。当社ではお客様の接続機器に関する通信エラーや不具合については一切の責任を負いかねます。

- ・本製品の仕様及び外観は改良のため予告なく変更する場合があります。予めご了承ください。
- ・品質には万全を期しておりますが、万一製造上の原因による不良がありましたら新しい製品とお取り替え致します。それ以外の責はご容赦ください。

・本製品は「電波法技術基準」に適合していますのでご使用にあたり無線局の免許は不要です。